

鳥取県医師会 会員の皆様へ

「おしどりネット」へ参加のお願い

盛夏の候、皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

数年前から医療ネットワークが全国に続々と誕生し、整備されてきています。国は昨年からは、全国の医療ネットワークを繋ぐ計画を立てています。

鳥取県においても「おしどりネット」という医療情報ネットワークがあります。現在、本システムには県内のすべての基幹病院が参加しており、各病院の電子カルテが参照可能です。このように全県を網羅した医療ネットワークは鳥取県の「おしどりネット」だけです。

鳥取県医師会はこれまで「おしどりネット」の普及に努めてきましたが、県民のための安心システムをめざして、診療所の参加登録、患者さんの登録を推進し更なるステップを目指すことと致しました。

県からも医療情報連携システムの普及は県民の医療安全のためとの共通認識の下、今後も継続支援を頂けることとなりました。

現在、「おしどりネット」に登録した患者さんのデータを、病院の電子カルテをクリニックに居ながら参照することが可能です。今後は、「おしどりネット」に登録された患者さんが、病院へ救急搬送されたり、紹介状なしに受診されたりした場合でも、その患者さんの医療情報（病歴、薬歴、検査歴など）がすぐに参照でき、適切な治療を迅速に行えることが出来るようになります。

また今後は、医療機関のみならず、薬局や、訪問看護ステーション、検査センター、行政などと幅広い連携を目指す方針です。

現在、ネットワークにアクセスするために、ID、PWを入力する必要がありますが、今後は日本医師会の医師資格証を使った認証システムを導入して、簡便かつ確実な認証アクセスが可能となり、医療情報のデジタル送信も可能となります。

我々の次世代は診療所もすべて電子カルテの時代になると思いますし、実際新しく開業された先生方は電子カルテを使っておられるようです。診療所からの医療情報がおしどりネットに繋がる時代もすぐそこに来ています。

おしどりネットは鳥取県の情報ハイウエーを使っており、人口最小ですが医療機関同士の連携の強い鳥取県だからこそ達成可能な「県民のための医療あんしんシステム」だと思います。「おしどりネット」に参加して、鳥取県から全国発信しましょう。本システムに参加して、一緒に本システムを育てていきましょう。

皆様のご参加、ご意見をお待ちしております。

鳥取県医師会副会長・システム担当理事 米川正夫

鳥取県西部医師会理事・システム担当 瀧田寿彦